

一般質問・質疑

6月18日、19日、22日の本会議では、15人の議員が質問に立ち、市長の2期目の市政運営や、プレミアム付商品券、小中学校へのエアコン設置、明石港周辺の整備、障害者差別の解消に向けた市の取り組みなどについて市の見解を求めました。

なお、発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

発言者一覧

—発言順— () は会派名

- 山崎雄史** (真誠会)
- ①泉市政の2期目の課題
- 松井久美子** (公明党)
- ①小・中学校への空調設備の設置 ②第2期中心市街地活性化基本計画と明石港周辺のにぎわいづくり ③市内における買い物弱者救済策として、卸売市場指定管理者による移動販売の実施 ④発達障害者の就労支援
- 中西礼皇** (未来創造明石)
- ①明石港周辺の利活用 ②住みたいまち明石とは何か
- 辻本達也** (日本共産党)
- ①市長選挙の結果と今後の市政運営 ②市長選挙における個人ビラの頒布 ③プレミアム付商品券 ④教育行政に係る諸課題
- 尾仲利治** (民主連合)
- ①戦後70年を迎える節目に当たり、市の考えを聞く ②第5次長期総合計画 ③子ども達が生き生きと学ぶことができる教育環境づくり
- 寺井吉広** (真誠会)
- ①創造的な地域包括ケアシステムの構築 ②空き家対策 ③自転車対策
- 佐々木敏** (公明党)
- ①よりよい選挙を目指して ②高齢者施策の充実を ③快適な市営住宅へ
- 丸谷聡子** (未来創造明石)
- ①生物多様性あかし戦略の取り組み ②協働のまちづくり推進
- 楠本美紀** (日本共産党)
- ①介護保険制度 ②子ども子育て ③西部中学校給食センター建設
- 国出拓志** (公明党)
- ①HACCP (ハサップ) ②放課後児童クラブの児童育成指導員 ③65歳以上の高齢者を対象にしたワンストップ窓口
- 西川あゆみ** (日本共産党)
- ①安保関連法案 ②トライやる・ウィーク
- 永井俊作** (市民クラブ)
- ①明石市の人口増加対策 ②脱原発をめざす首長会議 ③中学校給食 ④明石市の保育事業
- 遠藤恒司** (自由民主党)
- ①市長の所信表明 ②西明石のまちづくり ③大久保駅南のJT跡地
- 家根谷敦子** (スマイル会)
- ①障害者差別の解消に向けた市の取り組み ②障害者をはじめとする災害時の要配慮者への対応 ③障害者に係る職員採用
- 北川貴則** (市民クラブ)
- ①日本一安全なまち明石の実現のための危機管理 ②財政状況 ③福祉の充実 ④小中学校のエアコン設置 ⑤市民センター ⑥2015明石のウミガメ

小中学校の教室に エアコン設置へ バリアフリーも推進

問 本市の教育環境づくりの課題のうち、小中学校へのエアコンやエレベーターの設置は急務と考えるが、市の見解を聞く。

答 子どもを取り巻く教育環境については、市民からの要望も多く、より一層積極的な取り組みを行っていきたくて考えている。特にエアコンの設置は緊急性が高いと認識しており、



学習効果や学力向上も期待

健康面だけでなく、学習効果の面から必要性も非常に高いため、早期設置に向け検討を進めていく。

エレベーターの設置については、国への補助金申請が認められたため、6月議会に、衣川中学校と望海中学校のエレベーター設計委託費および工事請負費の補正予算議案を提案した。今後とも、必要性の高い学校から整備していくことを検討していく。

また、障害を持つ子どもも同じ場で学ぶことができる環境を整えるために、バリアフリー化は必要不可欠であると考えている。そのため、手すりの設置や段差解消などハード面の整備とともに、特別支援教育への一層の理解を深めさせるなどソフト面の取り組みも推進できるよう努めていく。

老人憩の家 委託料を廃止 今後の居場所づくりは

問 老人憩の家への委託料が来年度から廃止される。今後の高齢者の居場所づくりに対する市の考えを聞く。

答 老人憩の家については、地域によって偏在していることや、利用者には偏りがあることから、市の財政健全化に向けた取り組みの一環として、平成26年度か



ミニケア・ふれあいサロンで地域の仲間づくり

問 土中から産業廃棄物が発見された東部中学校給食センター建設予定地の土壌調査を行うことは無駄ではないか。調査した結果、安全が

答 東部中学校給食センター建設予定地の土壌調査した結果、安全が

東部中学校給食センター予定地 安全性確認のため土壌調査

問 土中から産業廃棄物が発見された東部中学校給食センター建設予定地の土壌調査を行うことは無駄ではないか。調査した結果、安全が

答 東部中学校給食センター建設予定地の土壌調査した結果、安全が

問 老人憩の家への委託料が来年度から廃止される。今後の高齢者の居場所づくりに対する市の考えを聞く。

答 老人憩の家については、地域によって偏在していることや、利用者には偏りがあることから、市の財政健全化に向けた取り組みの一環として、平成26年度か



4月に行われた専門家会議

ことから自衛隊の体験学習は、防災意識の高揚や、ボランティア活動への興味、関心、意識を高めるとともに自身の命の大切さや生き方について考えるきっかけになるものと認識している。

本市では、事前の申し入れにより、防災教育を中心に実施するなどの配慮をしてもらっており、今後についても同様の申し入れを行う考えだ。